

9 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 平成 29 年 9 月 14 日 (木)
- 2 開 催 場 所 青少年女性センター 4 階 大会議室
- 3 出席した委員 田淵教育長、吉田委員、森委員、坂元委員、廣岡委員
- 4 出席した職員 高井教育総務部長、大西教育指導部長、
井部教育指導部調整担当部長、
平田教育総務部次長、
小西教育総務部中学校給食準備担当参事、
野村教育指導部スポーツ振興担当参事、
石川教育指導部学校教育担当参事、
吉田教育総務課長、竹中学務課長、
山本学校教育課長、長瀬青少年育成課長、
中田教育研究所長、沼田文化財調査研究センター所長、
乾少年自然の家所長、竹内中央図書館長、
山野教育総務課副課長
- 5 傍 聴 者 4 人
- 6 議 事 の 要 旨
 - 開 会 午後 2 時 00 分
 - 会議録署名委員指名のこと
廣岡委員に決定
 - 8 月 定 例 教 育 委 員 会 の 会 議 録 報 告 承 認 の 事 項
(事務局から会議録朗読報告)
承 認
 - 会議公開の可否決定のこと
全ての議事を公開することに決定

(協議事項)

1 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について
(教育総務部次長から説明)

原案可決

委員：総合教育会議については、どのような位置付けで記載されているのか。

事務局：教育アクションプラン2016管理表の対象とはしていないが、教育委員会の活動状況の一つとして、4ページに開催状況や取り扱った議題等を記載している。

委員：教育アクションプラン2016管理表が追加されたことも含め、報告書の内容が第2期「かがわ教育ビジョン」に即したものに改善されてきたように思うが、市民が見てもそれがわかるような工夫はできないか。

事務局：教育アクションプラン2016管理表のそれぞれの見出しは、第2期「かがわ教育ビジョン」に掲げている「4つの基本的方向」や「15の重点目標」を引用しているものであるが、そのような体系的な整理を把握してもらえるよう、今後、わかりやすい表記方法を検討していきたい。

委員：重点目標ごとの評価は見受けられるが、全体を通じた教育委員会としての総合分析が欠けているように思う。前年度からの評価結果の推移等も含め、総括のコメントがあればより見やすい報告書になると思うので、一度検討してもらいたい。

事務局：ご指摘の内容を踏まえ、今後検討を進めていきたい。なお、教育アクションプラン2016管理表は、昨年度の教育委員会会議や学識経験者等からいただいた意見を踏まえ、今回から盛り込んでいるものであるため、次回以降の報告書であれば推移についても記載できるものと考えている。

委員：15の重点目標の中には、最重要取組事項が1つもないものがある。少なくとも重点目標ごとに1つは最重要取組事項があることが望ましいと考える。なお、学識経験者のご意見の中では、最重要取組事項以外の取組に対しても細かく評価いただいております、ありがたく感じている。

事務局：教育アクションプラン2017については、既に策定済みであり、内容を変更することが難しい状況であるが、今年度中に策定することになっている教育アクションプラン2018については、最重要取組事項の設定方法について議論を重ねた上で策定していきたいと考えている。

委員：事務事業評価シートの事業実施期間に「永年」という表記が見受けられるが、これはどのように解釈すればよいのか。

事務局：「未来永劫継続する事業」「見直し等を行わない事業」という意味ではなく、終期の定めのない事業という意味で「永年」という表記を用いているものと理解していただきたい。

教育長：個別評価がC評価になっている取組が6つあるが、今後の改善策等をどのように考えているか、それぞれ簡潔に説明してもらいたい。

事務局：1つ目の学校教育課所管の学校園支援地域本部事業であるが、評価指標としている地域コーディネーターの増員に向け、取り組んでいるところである。2つ目の児童生徒の読書習慣に関する取組については、図書室の整備や学校支援ボランティアの更なる活用を図る中でより充実させていきたいと考えている。3つ目の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の活用については、全学校において調査結果を踏まえた改善が行われるよう徹底していきたいと考えている。

委員：読書習慣を浸透させるためには、まず本を開くことが重要だと考えているため、特定の本や種別に限定せず、子どもたち自身が読みたいと感じた本を読むことを推奨していってもらいたいと思う。

委員：読書習慣を浸透させるため「朝の読書タイム」を設けた上で、評価指標を「読書が好きと回答した児童生徒の割合」としているが、家庭環境も含め様々な要素が密接に絡んでくる指標になっているため、「朝の読書タイムの満足度」を指標にするなど、指標の適正化を検討してもらいたい。

事務局：4つ目の青少年育成課所管の薬物乱用防止教室については、小学校での開催率が向上するよう積極的な啓発活動を行っているところである。

事務局：5つ目の教育総務課所管の学校施設の現地調査業務であるが、緊急性を考慮して外壁調査を最優先に取り組んできたところである。内装や内部配管等の状況調査については、外部委託を検討するなど、調査方法自体の見直しも検討する中で、計画的に実施していきたいと考えている。

事務局：6つ目の社会教育・スポーツ振興課所管の健康・体力づくり事業であるが、体育協会の会員だけではなく、一般参加者に参加してもらうことでより一層スポーツの裾野が広がるものと考えているため、一般参加者の更なる増加に向け、様々な工夫を凝らしていきたいと考えている。

教育長：それぞれの取組において今後も引き続き改善を図るとともに、評価指標についてもより適正な指標を模索するなど、適正化に努めてもらいたい。

委員：5年、10年の長期スパンで取り組んでいる事業については当該年度中に達成すべき目標値を指標に掲げるなど、全体を通じて適切な指標となるよう見直しを行ってもらいたい。

教育長：報告書の内容や、点検評価の方法は年々良くなってきていると思うが、本日委員からいただいた様々な意見を踏まえ、更なる改善を図ってほしい。

2 平成29年度9月補正予算に係る意見について

(教育総務部次長から説明)

原案可決

3 加古川市社会教育委員の委嘱及び任命について

(教育指導部調整担当部長から説明)

原案可決

委員：学校教育関係者である校長2名については、社会教育委員の任期が終わる前に退職するようなことはないか。

事務局：1名については、任期満了前に退職することになる。

委員：教育委員会外で「委嘱」する方については、母体組織における役員改選等の事情があるため、任期途中の交代が生じることはやむを得ないと考えている。ただ、従前から言っているように教育委員会の内部で「任命」する方については、職務の継続性等の観点からも2年間の任期を満了できる方が望ましいと考えている。

事務局：ご指摘の内容については、事務局としても常に留意しているところであり、この度も校長会に対して委員の選出依頼をする際にその旨を伝えたが、「様々な事情により候補者が限定されている状況の中で、その要件を満たす方の推薦が難しい」との回答があったところである。

教育長： 今後についても、任命の対象となる学校関係者に関しては任期満了できる方を原則とした上で委員の確保に努めてもらいたい。

委員： 新たな任期の中で取り組もうとしているテーマ等が決定していれば教えてもらいたい。

事務局： 「青少年女性センターの運営のあり方」及び「社会教育・社会体育活動に携わる指導者の資質向上」の2つのテーマについて検討を進めることとなっており、年度末までには提言書というかたちで教育委員会会議にも報告を行う予定である。

4 加古川市社会教育推進員の解嘱及び委嘱について
(教育指導部調整担当部長から説明)

原案可決

教育長： 任期途中で解嘱することとなった理由を教えてもらいたい。

事務局： 転居に伴い解嘱することとなったものである。

5 平成30年度使用教科用図書採択結果及び採択理由書について
(教育指導部学校教育担当参事から説明)

原案可決

委員： 先生方の手元に新たな教科用図書が届く時期を教えてもらいたい。

事務局： 9月17日から教科用図書を取り扱う業者との交渉が可能となるため、それ以降に随時学校へ届くものと考えている。教科用図書が届き次第、各学校において次年度に向けた年間計画の作成等を進めていくことになる。

委員： 道徳の教科における子どもたちの「評価」方法については、どのように現場の先生方に伝えるのか。

事務局： 他者との相対的な評価ではなく、それぞれの子どもたちが道徳の授業を通じてどのように成長したかという過程を評価するよう周知を図る予定である。なお、道徳心の向上という面については、道徳の授業だけに限らず、教育活動全体の中で取り組んでいきたいと考えている。

6 「加古川市教育委員会と兵庫県警察本部との相互連携に係る協定書」の締結について
(教育指導部学校教育担当参事から説明)

原案可決

教 育 長 : 他の地方公共団体の締結状況等を把握しているのであれば教えてもらいたい。

事 務 局 : 平成28年度当初において、1団体も締結していないのは全国で兵庫県のみであった。現在では、県内で神戸市、伊丹市、姫路市が既に締結しており、県内のそれ以外の団体はすべて締結に向けた調整段階にあると聞いている。

委 員 員 : 情報公開・個人情報保護審査会の答申における付帯意見の中で触れられているように、適正かつ厳格な運用に向けた統一的な判断基準が必要であると考えますが、事務局の考え方を教えてもらいたい。

事 務 局 : 他市では学校長の判断で情報提供しているケースが見受けられるが、本市においては、学校が警察へ情報提供する際には教育委員会への事前相談等が必要な旨を協定書に盛り込んでいる。なお、教育委員会の判断基準となる実施要項について現在作成を進めているところである。

委 員 員 : 学校ごとの対応に差異が生じることや、責任の所在が不明確になることについて懸念があったが、教育委員会が調整役を担っていると聞いて安心した。厳格な実施要項が作成されることを期待している。

委 員 員 : 最終的に教育委員会が判断する際には、第三者機関等への諮問等、その判断が担保されるような手続きをとる予定なのか。

事 務 局 : 実施要項に基づいて、事務局が判断する予定であり、それ以上の手続きについては現時点では考えていない。

教 育 長 : 今後、実際に運用する中で様々な課題が生じることが予想されるが、一つ一つ丁寧に対応していってほしい。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

10月5日(木)午後2時から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1)平成29年第5回市議会（定例会）における代表質問について

9月7日に代表質問があり、教育委員会関係では、松本裕一議員から、大項目「加古川市の義務教育の今後について」のうち「オープンミーティングの成果と活かし方について」、「課題と解決に向けた今後の取り組みについて」、「地域が望む学校づくりの進め方について」、「義務教育のあり方と本市の今後の教育ビジョンについて」、村上孝義議員から、大項目「教職員の働き方改革について」のうち「教職員の働き方改革について」、「教職員の時間外労働時間について」、「学校閉庁日の実施、新部活動休養日の設定と部活動指導員の配置、スクール・サポート・スタッフの配置について」、「新学習要領に対応した働き方改革について」、福岡照文議員から、大項目「選挙公約事業の現況と今後の対応について」のうち「中学校給食の早期実現について」の質問があった。

それぞれの質問の趣旨と答弁の要旨を説明する。

(2)平成29年第5回市議会（定例会）における一般質問について

9月7日、8日に一般質問があり、教育委員会関係では、落合誠議員から、大項目「加古川市PTA連合会事務局業務について」のうち「PTA連合会の目的と対象者について」、「平成26年度の公開事業評価後の対応について」、「加古川市PTA連合会事務局業務の内容について」、「加古川市PTA連合会本部会や理事会等への外部的圧力について」、高木英里議員から、大項目「中学校給食について」のうち「多様な方式を比較検討した具体的な結果の内容について」、「調理業務や施設管理などを一括して業者に委託することについて」、「食育や地産地消の推進について」、「給食費の無償化または補助について」、西村雅文議員から、大項目「『赤ちゃん登校日』授業について」のうち「『赤ちゃん登校日』授業について」、白石信一議員から、大項目「学校園における熱中症対策について」のうち「熱中症に関する教育について」、「暑さ指数(WBGT)測定について」、「冷水器設置についての課題と導入について」、岸本建樹議員から、大項目「小中学校の教育環境について」のうち「小中一貫校の目指すところについて」、「小中一貫校の弊害について」、「地域と連携する学校運営について」、山本一郎議員から、大項目「『する』スポーツ、『みる』スポーツの充実に向けた課題について」のうち「市内で開催されるスポーツイベントでの『市』の関わり方について」の質問があった。

それぞれの質問の趣旨と答弁の要旨を説明する。

(3)平成29年第6回市議会（定例会）日程（案）について

12月4日から18日に開催される。

○ 教育委員諸報告

[吉田委員から]

(1) 幼稚園の施設老朽化について

民間委託されている幼稚園等は外観が非常に綺麗で園児も喜んで使用していると思うが、市立幼稚園では、外壁や藤棚、鉄柱等に錆びや色褪せが非常に多くみられるため、できるだけ早期の対応をお願いしたい。

事務局：老朽化の状況については事務局としても認識しているところであるが、緊急性等の優先度を考慮する中で、60校園を計画的かつ効率的に修繕していきたいと考えている。

(2) 加古川幼稚園前道路の混雑について

遠方から通っている園児の送迎等の影響もあり、加古川図書館から加古川保育園までの南北の道路が登降園の時間帯に非常に混雑している。子どもたちが事故等に巻き込まれることの無いよう、スクールゾーン化などの対策をお願いしたい。

事務局：スクールゾーン化に当たっては警察や近隣住民の調整が大前提であることや、当該道路の周辺は一方通行が多いこと等、配慮すべき事情が多々あるため、慎重な検討が必要であると考えている。

委員：スクールゾーン化はあくまでも例として挙げたものであるため、スクールゾーン化が難しい場合は危険性を解消できる別の方策を検討してもらいたい。

(3) 学校園支援ボランティアについて

学校園訪問の際、支援ボランティアの方が汗だくになりながら敷地内の芝刈りを行ってくれている光景を度々見かけた。本当にありがたいことであり、お礼申しあげたい。

(4) 幼稚園児の昼食について

弁当を持参することが原則であることは承知しているが、保護者の方から「家庭の事情等によりどうしても弁当を準備できない日の対応を考えてもらいたい。」という声を聞いている。

(5) ユニット活動に対する考え方について

資料上の表記だけの問題になるが、ユニットの活動を「外部活動」と位置付けている園が見受けられた。当該園には直接指摘したところであるが、事務局においても各校園にユニットの考え方が浸透するよう取り組んでいてもらいたい。

(6) ユニット内での相互交流について

ユニット内の隣接した校園では相互の交流が行いやすいと考えるので、例えば小学校の音楽会の練習を幼稚園の遊戯室で行うなど、連携した教育活動を通じて児童・園児がお互いに新たな教育効果を享受できるような取組を検討してもらいたい。

事務局：ユニットの取組がスタートしてから10年が経過し、学校園現場にもユニットの意識が徐々に浸透してきているとは思っているが、今後もより一層ユニットの取組が活性化するように努力していきたいと考えている。

[坂元委員から]

(1) 学校園訪問の所感について

一概に言えることではないが、園児数が10人から20人の規模のクラスが運営上比較的落ち着いているように感じた。また、ユニット内の交流活動の中で園児が学校に行くことがあると思うが、体格の違い等から園児の安全性が担保されないような場所が見受けられたので、施設の点検等で学校に赴く際にはそのような観点からの確認もお願いしたい。

事務局：危険性がある箇所については随時点検をし、必要に応じて対応を進めていきたい。

[廣岡委員から]

(1) 学校園訪問の所感について

経験者枠で採用した幼児教育士を見させていただく機会があったが、非常に巧みで大きな戦力になっているように感じた。経験者という新しい風を取り入れることが幼稚園現場に色々な学びをもたらしてことを実感したため、今後も積極的に優れた人材が確保できるよう取り組んでもらいたい。

(2) 西条古墳群について

明石原人を発見した元早稲田大学の教授である直良信夫氏が、本市の西条古墳群を訪れ、論文を書かれていたということを知る機会があったため、この場でもお知らせしたい。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 就学援助の認定について

小中学校児童生徒に対する就学援助の認定を行った。

以上、1件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 公開事業評価の実施について

公開事業評価の対象事業として、社会教育・スポーツ振興課所管の「世代間交流学習会事業補助金交付事業」が選定され、10月1日(日)に実施される。

(2) 議会事務事業評価の実施について

議会事務事業評価の対象事業として、社会教育・スポーツ振興課所管の「児童クラブ運営事業」が選定され、9月12日(火)の総務教育常任委員会の際に評価が実施された。

(3) 平成29年度全国中学校体育大会の結果について

平成29年度全国中学校体育大会が、8月17日(木)から九州ブロックで開催された。

(4) 第64回全日本吹奏楽コンクール出場激励会の開催について

中部中学校吹奏楽部が、第67回関西吹奏楽コンクールにおいて金賞を受賞し、関西代表として全日本吹奏楽コンクールに出場する。また、激励会を9月26日(火)に開催する。

(5) 2学期開催予定の幼小中の運動会、小学校修学旅行及び自然学校の実施日程について

2学期開催予定の幼小中の運動会、小学校修学旅行及び自然学校の実施日程について報告する。

(6) オープンスクール等の実施について

9月以降に実施される市内各校園のオープンスクールと少年自然の家 of 公開可能なイベントの日程を報告する。

(7) 平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

平成29年4月18日(火)に実施した平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について、説明する。

以上、7件について報告

○ 閉会 午後3時55分